

日本貝類学会平成 28 年度大会 プログラム

会期：平成 28 年 4 月 16 日（土）～ 17 日（日）

会場：東邦大学習志野キャンパス 5 号館

4 月 16 日（土）

09:00～ 受付

口頭発表 <座長：狩野泰則>

- 09:45-10:00 **A01** MRI を用いた深海性二枚貝類の心拍動測定
瀬尾絵理子○（東京大学大気海洋研究所）・瀬尾芳輝（獨協医科大学）・
生田哲朗・丸山正（海洋研究開発機構）・小島茂明（東京大学大気海
洋研究所）
- 10:00-10:15 **A02** 熱水噴出域固有動物の海洋表層分散—ミョウジンシンカイフネアマガイを例に—
矢萩拓也○（東京大学大気海洋研究所）・渡部裕美（海洋研究開発機構）・
小島茂明・狩野泰則（東京大学大気海洋研究所）
- 10:15-10:30 **A03** イシダタミ・オキナワイシダタミ間の集団遺伝構造の比較：集団構造の違いに生
息地嗜好性は寄与するか？
山崎大志○・千葉聡（東北大学・院・生命科学）・三浦収（高知大学・
総合研究センター）・池田実（東北大学・院・農）
- 10:30-10:45 **A04** アオガイ類の遺伝的集団構造と生息環境の比較分析
照屋清之介○（東京大学理学系研究科）・中野智之（京都大学・瀬戸
臨海実験所）・佐々木猛智（東京大学総合研究博物館）
- 10:45-11:00 **A05** 北海道におけるコシダカヒメモノアラガイの分布と肝蛭感染およびその分子学的
特徴
尾針由真○（岐阜大学連合獣医病態・岩手大学農獣医寄生虫）・栗原
康裕（道総研網走水産試験場）・板垣匡（岐阜大学連合獣医病態・岩
手大学農獣医寄生虫）

口頭発表 <座長：山崎友資>

- 11:00-11:15 **A06** 日本産キセルガイ類の分子系統解析および分類体系の再検討
元陳 力昇○・上島 励（東京大学・院・理）
- 11:15-11:30 **A07** ヒラマキミズマイマイ類における殻形態多様性の進化的要因
齊藤匠○（東北大学・院・生命科学）・福田宏（岡山大学）・千葉聡
（東北大学・院・生命科学）
- 11:30-11:45 **A08** サキグロタマツメタが「先黒」になるまで
鈴木聖宏○・大越健嗣（東邦大学・院・理）
- 11:45-12:00 **A09** 岐阜県大垣市のペルム紀赤坂石灰岩から産するアラトコンカ科二枚貝 *Shikamaia*
akasaensis Ozaki の成長様式と生息姿勢
安里開士○（筑波大学・院・生命環境科学・地球進化学）・加瀬友喜
（国立科学博物館）・小野輝雄（岐阜県瑞穂市）・指田勝男・上松佐知
子（筑波大学・生命環境系）

- 12:00-12:15 **A10** 館山湾産ウロコガイ科2種の摂餌関連形態
筑紫哲矢○・土屋光太郎（東京海洋大学）
- 12:15-13:15
昼食
- 13:15-14:15 **ポスターセッション・コアタイム（奇数番号）**
口頭発表 <座長：中野智之>
- 14:15-14:30 **A11** 天敵ヘビの巻型判別が促進する左巻適応進化
浅見崇比呂○（信州大学）・Patchara Danaisawadi・Chirasak Sutcharit,
Somsak Panha（Chulalongkorn Univ）・太田英利（兵庫県立大学）
- 14:30-14:45 **A12** ウミウシ（Nudipleura）の起源と直神経類の進化
狩野泰則○（東京大学大気海洋研究所）・Bastian Brenzinger（ミュンヘン動物学博物館）・Alexander Nützel（ミュンヘン古生物・地学博物館）・
Nerida G. Wilson（西オーストラリア博物館）・Michael Schrödl（ミュンヘン動物学博物館）
- 14:45-15:00 **A13** 寄生性腹足類ハナゴウナ科における反復適応放散
高野剛史○（東京大学大気海洋研究所）・Anders Warén（スウェーデン国立自然史博物館）・狩野泰則（東京大学大気海洋研究所）
- 15:00-15:15 **A14** 遺伝マーカーを用いた両側回遊種イシマキ小笠原集団の独立性検証
福森啓晶○・伊藤萌・狩野泰則（東京大学大気海洋研究所）
- 15:15-15:30 **A15** Phylogeography of the rock shell *Thais clavigera* (Mollusca): Evidence for long-distance dispersal in the northwestern Pacific
Joong-Ki Park○・Jiyeon Kim・Soyeong Jin（Ewha Womans University）・
Tomoyuki Nakano（Kyoto University）・Akihiko Matsukuma（Ocean University of China）
- 15:30-15:45 **A16** 日本産タニシ科貝類の分子系統
平野尚浩○・齊藤匠・千葉聡（東北大学・院・生命科学）
- 15:45-16:00 **A17** キヌハダモドキの性的共食いは敵対行動(spiteful behavior)なのか？
小蕎圭太（東京海洋大学・館山）・関澤彩真（琉球大学・瀬底）・中嶋康裕○（日本大学・経済）
- 16:00-16:15 **休憩**
口頭発表 <座長：上島 励>
- 16:15-16:30 **A18** カモガイの解剖と系統地理
佐々木猛智○（東京大学総合研究博物館）・照屋清之介（東京大学理学系研究科）・淵上大河（東京大学理学部）
- 16:30-16:45 **A19** 牡蠣の最新分類学 特に日本産マガキ属・オハグロガキ属について
山下博由○（貝類多様性研究所）・関野正志（水産総合研究センター）・
石川裕（四国貝類談話会）
- 16:45-17:00 **A20** オホーツク海南部におけるハダカカメガイ属の分類
山崎友資○（蘭越町貝の館）・桑原尚司（北海道立オホーツク流水科学センター）
- 17:00-17:15 **A21** 駿河湾におけるメンダコ類の分類、出現状況、繁殖形質の周年変化
猿渡敏郎○（東京大学大気海洋研究所）・柳本卓（中央水産研究所）・
松崎浩二・倉石信・春本宜範・山内信弥（ふくしま海洋科学館）

- 17:15-17:30 **A22** 浜名湖で確認されたハネナシヨウラクの移入個体群
木村昭一〇・木村妙子（三重大学・院・生物資源）
- 18:00-20:00 **懇親会（東邦大学学生食堂PAL）**

4月17日（日）

08:30～ **受付**

口頭発表 <座長：石田 惣>

- 09:30-09:45 **B01** 油壺産イソアワモチ（収眼類）の生活史と卵発生への試論
川端美千代・関藤 守・幸塚久典（東京大学三崎臨海実験所）・
尾城 隆〇・金岡 穰・黒川 信（首都大学東京）
- 09:45-10:00 **B02** 養魚場を活用したカワシンジュガイの保全
伊藤健吾〇（岐阜大学）・岸大弼（岐阜県水産研究所）・秋山吉寛（国
土技術政策総合研究所）・近藤美麻（大阪府立環境農林水産総合研究
所）・近藤高貴（大阪教育大学）
- 10:00-10:15 **B03** カワシンジュガイとコガタカワシンジュガイの形態の比較
鈴木興道（河川学研究所）
- 10:15-10:30 **B04** 北海道沿岸のムラサキガイとキタノムラサキガイの分布
岩崎敬二〇（奈良大学教養部）・平野伯未子（奈良大学社会学部）
- 10:30-10:45 **B05** 日本海溝の腹足類相の概要（予報）
長谷川和範（国立科学博物館）
- 10:45-11:00 **B06** 宮古諸島における陸産貝類相の現状と課題
久保弘文（沖縄県水産海洋技術センター）

11:00-12:00 **総会**

12:00-13:00 **昼食**

シンポジウム「10年後の貝類学」 <座長：大越健嗣>

- 13:00-13:10 趣旨説明
大越健嗣（日本貝類学会会長・東邦大学理学部）
- 13:10-13:35 貝食性オサムシにみられる適応的形態分化
小沼順二（東邦大学理学部）
- 13:35-14:00 貝類の系統解析と種分類：10年前、現在、そして10年後
狩野泰則（東京大学大気海洋研究所）

14:00-15:00 **ポスターセッション・コアタイム（偶数番号）**

口頭発表 <座長：佐々木猛智>

- 15:00-15:15 **B07** 二枚貝綱原鰓亜綱の分子系統解析と貝殻微細構造の進化
佐藤圭〇（東京大学総合研究博物館）・狩野泰則（東京大学大気海洋
研究所）・スティアマルガ・デフィン（和歌山高専）・渡部裕美（海
洋研究開発機構）・佐々木猛智（東京大学総合研究博物館）
- 15:15-15:30 **B08** Alycaeid land snails (Gastropoda: Cyclophoroidea) exchange gas through narrow channels
formed by the outermost shell layer
Barna Páll-Gergely〇 & Takahiro Asami (Shinshu University)

- 15:30-15:45 **B09** 中国浙江省の田螺山遺跡とその周辺部の遺跡で確認された貝類遺体
黒住耐二〇(千葉県立中央博物館)・孫国平(浙江省文物考古研究所)
- 15:45-16:00 **B10** 北海道東部の暁新統活平層産腹足類と古生物地理学的意義
天野和孝〇(上越教育大学)・Anton Oleinik (Florida Atlantic Univ)・ロバート・ジェンキンズ(金沢大学)
- 16:00-16:15 **B11** オオシラスナガイおよびその類似種のタイプ標本の検討
延原尊美(静岡大学・教育学部)
- 16:15-16:30 **B12** 瀬戸内海の「絶滅危惧」貝漁
石田惣(大阪市立自然史博物館)

ポスターセッション (コアタイム・奇数番号:16日 13:15-14:15、偶数番号:17日 14:00-15:00)

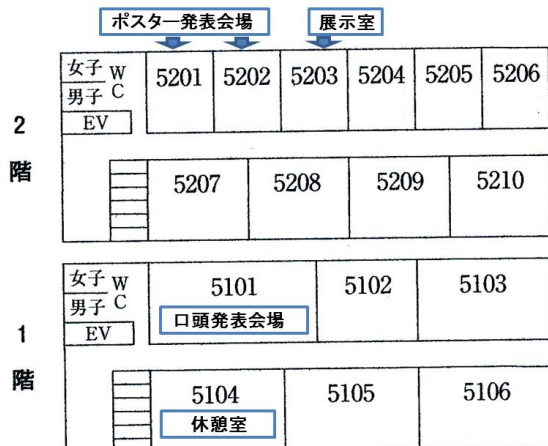
- P01** 両性遺伝するドブガイ類の雄ミトコンドリアの分子系統解析
石川春樹〇・倉沢鷹・砂村遥平・服部明正(松山高等学校生物部)
- P02** 2014年~2016年の東京都内の「かいぼり」で確認された淡水二枚貝
白井亮久〇(武蔵高等学校中学校)・佐藤方博(認定NPO法人生態工房)
- P03** トンガリササノハガイ属の分子系統解析
倉沢鷹〇・鳥屋太志・佐久間幹大・服部明正(松山高等学校生物部)
- P04** カワシンジュガイの排泄物中に含まれる植物プランクトンの基礎調査
秋山吉寛〇(国土技術政策総合研究所)・岸大弼(岐阜県水産研究所), 伊藤健吾(岐阜大学), 近藤美麻(大阪府立環境農林水産総合研究所), 近藤高貴(大阪教育大学)
- P05** コモレビコガモガイの巻貝への付着の意義
中山凌〇(京都大学・院・理), 中野智之(京都大学・瀬戸臨海実験所), 遊佐陽一(奈良女子大学・理)
- P06** コモレビコガモガイの幼生発生
高橋陽子・中山凌(京都大学・院・理)・中野智之〇(京都大学・瀬戸臨海実験所)
- P07** 土砂の一時的被覆が伊豆大島の貝類に与えた影響
今井元海〇・大越健嗣(東邦大学・院・理)
- P08** キタサメハダヒザラガイの分布記録
齋藤寛〇(国立科学博物館)・濱村陽一(呉市)・木村昭一(三重大学・院・生物資源)・河辺訓受(横須賀市)
- P09** ヨシ原消失地点でのヨシ地下茎が貝類の生息に与えた影響
北村陸〇・大越健嗣(東邦大学・院・理)
- P10** 野外操作実験で解き明かす「樹上性」の適応的意義 ~ 木登りカタツムリサッポロマイマイを例として
佐伯いく代〇(筑波大学)・丹羽慈(自然環境研究センター)・長田典之(北海道大学)・兵藤不二夫(岡山大学)・太田民久(総合地球科学研究所)・大石善隆・日浦勉(北海道大学)
- P11** 3.11大地震の外来生物サキグロタマツメタへの影響—震災から5年目の現在—
鈴木聖宏〇・大越健嗣(東邦大学・院・理)
- P12** 外来種ミノウミウシ *Cuthona perca* の基礎生態と大阪湾における分布状況について
柏尾翔〇(ぎしわだ自然資料館)・田中広樹(株式会社海遊館)・濱谷巖(大阪府)

- P13** 胃内容物から後鰓類の食性を探る
中野理枝（公益財団法人黒潮生物研究所・NPO 法人全日本ウミウシ連絡協議会）
- P14** 日本産イソアワモチ科 6 種の食性と摂餌関連形態
成沢多磨美・土屋光太郎○（東京海洋大学）
- P15** 館山湾におけるウロコガイ科貝類の多様性
筑紫哲矢○・土屋光太郎（東京海洋大学）
- P16** 新規外来種マダラコウラナメクジの日本での生態解明にむけて
宇高寛子○（京都大学・院・理）・池澤広美（茨城県自然博物館）
- P17** 茨城県と千葉県における外来種ヒメリンゴマイマイの分布と生息状況
池澤広美○（茨城県自然博物館）・渡邊健・岡部克（茨城県病害虫防除所）・黒住耐二（千葉県立中央博物館）
- P18** 関東地方東部に定着したヒメリンゴマイマイーそのサイズと同所的に生息する陸産貝類
黒住耐二○（千葉県立中央博物館）・池澤広美（茨城県自然博物館）
- P19** 日本周辺の深海化学合成生物群集に分布する腹足類 *Bathycyma* 属 3 種の関係
渡部裕美○、CHEN Chong（海洋研究開発機構）、佐々木猛智（東京大学総合研究博物館）、小島茂明（東京大学大気海洋研究所）、山本啓之（海洋研究開発機構）
- P20** 多良間海丘および多良間海陵における熱水域貝類相
Chong Chen○・川口慎介・渡部裕美（海洋研究開発機構）
- P21** 和歌山県南部河口域におけるカキ類の種構成と垂直分布
瀬尾友樹○（近畿大学・院・農）・成田彩子・梶家未希（近畿大学・農）・ジン・タナンゴナン（近畿大学・院・農）
- P22** グリシンリッチ貝殻タンパク質の多様性
宮本裕史（近畿大学・生物理工）
- P23** 飼育下で見られたタコブネの行動
伊藤寿茂○・冨永早希・樋口理沙・岩崎猛朗・島津恒雄（新江ノ島水族館）
- P24** ゴマオカタニシ類の進化と邦産種の多様性
狩野泰則○・福森啓晶（東京大学大気海洋研究所）
- P25** Phylogeography of the European land snail genus *Orcula* (Orculidae, Stylommatophora): speciation, hybridization and morphological variation
Josef Harl○, Barna Páll-Gergely & Takahiro Asami (Shinshu University)
- P26** Marine Mollusk Resource Bank of Korea (MMRBK)
Yu-Cheol Lee (Marine Mollusk Resource Bank of Korea & Inha University), Jiyeon Kim, Soyeong Jin (Ewha Womans University), and Joong-Ki Park○ (Marine Mollusk Resource Bank of Korea & Ewha Womans University)

学生最優秀発表賞

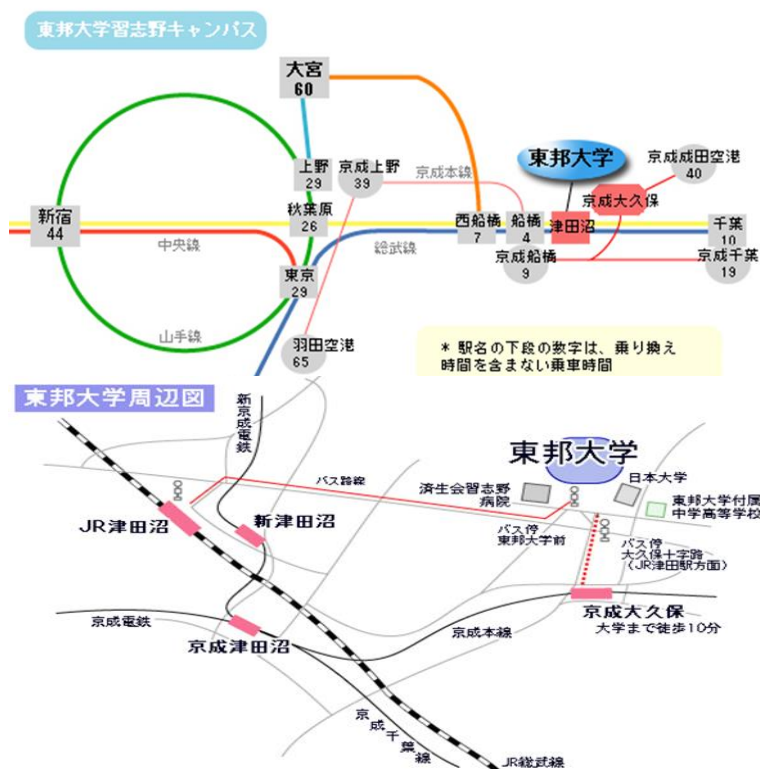
日本貝類学会では、大会時の学生による優秀な発表（口頭及びポスター）に対して学生最優秀発表賞（原則 1 件）を授与しています。本大会では、学生による発表はすべて大会 1 日目の 16 日に行い、懇親会の時に結果を発表する予定です。研究内容やプレゼンテーション力などを総合して審査を行います。学生の皆さん、頑張ってください。

会場案内：東邦大学習志野キャンパス 5号館（キャンパスの一番奥の右側の建物です。）



■東邦大学習志野キャンパスへのアクセス

- JR 総武線「津田沼駅」北口4番乗り場から三山車庫行、京成バス習志野出張所行、二宮神社行、八千代駅行、または5番乗り場から日大実翔行、八千代台駅行のいずれかに乗車し「東邦大学前」で下車（駅から10～15分）
- 京成本線 京成大久保駅西口から大久保商店街を抜けて徒歩約10分（日本大学生産工学部隣）



■駐車場：学内の駐車スペースは限られています。荷物の搬入等で車が必要な方は来学時に入口の守衛所で手続きをお願いします。それ以外の方はできるだけ公共交通機関をお使いください。

受付

- ・4月16日(土)の受付開始は午前9時、17日(日)の受付開始は午前8時30分です。
- ・事前入金の方は銀行ATMでお渡しした振替払込受領証をもって領収証とします。費目を分ける必要があるなど、経理処理上の理由で別様式の領収証が必要な方は受付までお知らせください。

口頭発表(5号館1階5101教室)

- ・1講演あたりの発表時間は、質疑を含め15分(1鈴10分、2鈴12分、3鈴15分終了)です。時間厳守をお願いします。
- ・会場ではWindows7(PowerPoint2010)のマシンを用意します。OS等の環境が異なる方は各自で再生テストを行っておいて下さい。
- ・データはUSBメモリ、またはCD-R等にコピーして当日ご持参ください。ファイル名は「A01_Tanaka.pptx」のように「講演番号、アンダーバー、講演者名(拡張子)」(すべて半角英数字)としてください。事前に必ずウイルスチェックを行ってください。
- ・発表データは受付時に係にお渡しください。16日の発表は16日午前9時30分までに、17日の発表は16日午後5時30分までにお持ちください。この時間に間に合わない場合は事務局まで事前にお知らせください。発表後、パソコンにコピーされたデータは消去します。

ポスター発表(5号館2階5201,5202教室)

- ・ポスターを貼り付けるパネルは幅90cm×高さ180cmです。パネルへは磁石止めになります。磁石はこちらで用意します。
- ・発表用のポスターは発表当日の正午までにポスター会場に掲示してください。ポスターの展示位置は会場に表示します。

休憩室(5号館1階5104教室)・展示室(2階5203教室)

休憩室は口頭発表会場の向かい側の教室です。飲食が可能です。
展示室は同好会・談話会等の展示スペースとしてお使いいただけます。事前にご連絡いただければテーブルや椅子を必要数用意します。当日でも可能です。

喫煙

会場内、及びキャンパス内(屋外の敷地を含む)はすべて禁煙です。ご協力をお願いします。

昼食・飲食

- ・弁当を予約された方には受付時に昼食引換券をお渡ししますので、各日12:00-12:30の間に受付前でお引き換えください。弁当の予約は3月22日で締め切りました。
- ・キャンパス内には生協食堂「PAL」があります。16日(土)は11:00~14:00まで利用できます。17日(日)は閉店です。
- ・キャンパスの近くや京成大久保駅からキャンパスまでの間の大久保商店街にはコンビニ、弁当店、ファーストフード店、ラーメン屋、居酒屋などがあります。
- ・休憩室にはお茶などを用意しています。休憩室・発表会場(教室)での飲食は可能です。

懇親会

会場：東邦大学生協食堂「PAL」(キャンパス入口入り左手奥)

日時：4月16日(土)18:00~20:00

引き続き参加申込み受付中です(2/23以降の受付・支払：一般：6,500円、学生：4,500円)。

クローク

クロークはありません。荷物等をご自身で管理をお願いします。

盗難対策お願い

最近、学内では盗難が報告されています。一般の方の学内通り抜け等も行われています。貴重品は各自の責任で管理をお願いします。

お願い

口頭発表のスライドやポスターにはまだ論文として発表していないデータが多く含まれています。カメラやスマートフォン、ビデオ等による撮影は発表者や共同研究者等が発表風景を撮影するような場合を除き、原則禁止とさせていただきます。近年多くの学協会の大会では同様の措置がとられています。ご協力をお願いします。尚、発表者から許可を得た場合についてはこの限りではありません。

東邦大学は土曜日は授業日です。16日（土）は口頭発表会場及びポスター発表会場・休憩室と同じフロアで授業が行われていますので、ご協力をお願いします。